

派遣概要

医療MaaS導入について、医療機関（町立病院）の準備が停滞する中で、**全国**の取組事例紹介や山都町における可能性についての助言を受け、令和7年1月からの試験運行実施につながった。

(1)

背景

状況・課題

- ・減少する医療機関対策として、マルチタスク車両を活用したオンライン診療体制を検討
- ・「オンライン診療は対面より質が落ちる」という懸念

(2)

支援内容



対応アドバイザー **安江 輝**

支援分野 医療・介護・健康
派遣回数 計3回（実地・オンライン）

医療MaaS事業

- 支援①：行政・企業（担当課・DX推進チーム・委託先企業）向け支援
- 支援②：病院スタッフ向け医療MaaS推進・DX推進に関する教育的支援

(3)

支援成果

成果：車両の納車を機に事業の進捗が一気に加速

- ・具体的なイメージを持つことを通じて、**医療MaaSに対する理解促進と不安払拭**を実現。
- ・対象エリアや対象者の抽出が順調に進み、試験運行及び実装運転につながった。

※医療MaaS：医療とモビリティ（移動手段）を融合させた医療提供の仕組み。
具体的にはオンライン診療システムや医療機器を搭載した自動車の活用等。



マルチタスク車両

派遣概要

医療MaaS導入について、医療機関（町立病院）の準備が停滞する中で、**全国**の取組事例紹介や**山都町における可能性についての助言**を受け、令和7年1月からの試験運行実施につながった。

(1) 背景

医療機関の減少が進む中で、**オンライン診療に対する不安払拭**を図り、マルチタスク車両を活用した診療体制（医療MaaS）を進めることで、定期的に身近な場所で医療機関への受診機会を確保できる環境の整備を目指す。

事業名 医療MaaS事業
対応アドバイザー 安江 輝
支援分野 医療・介護・健康
派遣回数 計3回（実地・オンライン）

(2) 支援内容

①行政・企業（担当課・DX推進チーム・委託先企業）向け支援

- ・事業の方向性を、法的根拠、オンライン診療ガイドライン等をもとに助言。
- ・北海道、愛媛県、伊那市等における**医療MaaSの事例を紹介し、山都町でも同様の課題解決が可能**であることを示唆。



病院職員向け研修会

②病院スタッフ向け医療MaaS推進・DX推進に関する教育的支援

- ・医療機関において、「オンライン診療は対面より質が落ちる」という懸念が根強い中、町立病院の院長先生や事務長との対談や、病院職員に対する「医療MaaS推進研修会」を開催。
- ・医療機関が主体的に関与することで、行政主導の限界を超え、実効性のある運用が可能になること
- ・医師・看護師・事務職員などの協力体制が整えば、段階的な運用開始が現実的になること等を助言。

<以下について、情報提供も実施>

- ・伊那市の医療MaaS事業に加え、山口県の遠隔診療等のモデル
- ・診療報酬や運用に関すること
- ・地域医療と地方創生の関連性

(3) 支援成果

アドバイザー派遣後、**車両の納車を機に事業の進捗が一気に加速**した。

- ・診療に携わる病院職員に**具体的なイメージ**を持ってもらったことで、**医療MaaSに対する理解促進と不安払拭**を実現。対象エリアや対象者の抽出が順調に進み、令和7年1月の試験運行及びその後の実装運転につながった。
- ・併せて、病院と協力して住民説明会の開催や広報誌を通じた周知活動を行うことができた。

※医療MaaS：医療とモビリティ（移動手段）を融合させた医療提供の仕組み。
 具体的には**オンライン診療システムや医療機器を搭載した自動車の活用等**。

その後の事業状況

実施医療機関の拡大や服薬指導・行政MaaSとして多用途使用へ

- ・令和7年4月から、オンライン服薬指導を開始。
- ・町内民間医療機関にも拡大。令和7年10月から2か所でオンライン診療開始に向け準備を進めている。
- ・移動救護車や**移動期日前投票所**としての利用へ拡大（マルチタスク車両）



マルチタスク車両



山都町医療MaaS（Starlink活用）



オンライン診療